

103-345

問題文

35歳男性。乗物酔い防止薬の購入のため薬局を訪れた。男性は、自分と5歳の子供の両方が服用できる一般用医薬品を希望している。子供は錠剤やカプセル剤を服用できる。

薬剤師がこの男性に勧める医薬品の成分と用量として適切なのはどれか。2つ選べ。

| | 用量（成人1回量） | 成分（成人1回量） |
|---|-----------|---|
| 1 | 3錠 | ジフェンヒドラミンサリチル酸塩（45 mg）、ジプロフィリン（45 mg） |
| 2 | 2錠 | 塩酸メクリジン（25 mg）、スコボラミン臭化水素酸塩水和物（0.16 mg） |
| 3 | 1カプセル | マレイン酸フェニラミン（30 mg）、アミノ安息香酸エチル（50 mg）、スコボラミン臭化水素酸塩水和物（0.2 mg）、無水カフェイン（20 mg）、ピリドキシン塩酸塩（5 mg） |
| 4 | 1錠 | プロモバレリル尿素（83.3 mg）、アリルイソプロピルアセチル尿素（50 mg）、ジフェンヒドラミン塩酸塩（8.3 mg） |
| 5 | 2カプセル | イブプロフェン（200 mg）、無水カフェイン（37.5 mg）、ヨウ化イソプロパミド（2.5 mg）、 <i>d</i> -クロルフェニラミンマレイン酸塩（1.75 mg）、デキストロメトルフアン臭化水素酸塩水和物（24 mg）、 <i>dl</i> -メチルエフェドリン塩酸塩（30 mg） |

解答

1,2

解説

一般用医薬品における 乗り物酔い防止薬は、ジフェンヒドラミン・ジプロフィリンやメクリジンなどの抗ヒスタミン薬です。

選択肢 3,4 ですが
成人1回量が1カプセル、1錠となっており、5歳の子供に服用させるために調節することが不可能なので不適切です。

選択肢 5 ですが
イブプロフェン（解熱鎮痛）、メチルエフェドリン（鎮咳）などが入っており総合かぜ薬と考えられます。乗り物酔い防止薬としては明らかに不適切です。

以上より、正解は 1,2 です。